

〔別 紙〕

様式 1

事 業 報 告 書
(自 令和 3 年 5 月 1 日 至 令和 4 年 4 月 3 0 日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人社団 美正会

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)

② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
☐ 出資額限度法人 ☒ その他

③ ☒ 基金制度採用 ☐ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目(③は社団のみ。)について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 静岡県静岡市清水区西高町 4 番 6 号

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成 2 2 年 9 月 1 4 日

(4) 設立登記年月日 平成 2 2 年 9 月 2 4 日

2 事業の概要

(1) 本来業務(開設する病院、診療所又は介護老人保健施設(医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。)の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数	
診療所	花みずき通り内科 クリニック 【静岡市から指定 管理者として指 定を受けて管理】	静岡県静岡市清水区西高町 4 番 6 号	一般病床	床
			療養病床	床
			[医療保険	床]
			[介護保険	床]

(2) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 3 年 6 月 2 4 日 令和 2 年度決算の決定

令和 4 年 4 月 3 0 日 令和 5 年 4 月期の事業計画及び収支予算の決定

” 令和 5 年 4 月期の借入金額の最高限度額の決定

様式 2

法人名 医療法人社団 美正会
所在地 静岡市清水区西高町4番6号

※医療法人整理番号				
-----------	--	--	--	--

財 産 目 録
(令和4年4月30日現在)

1. 資 産 額	39,315 千円
2. 負 債 額	10,502 千円
3. 純 資 産 額	28,813 千円

(内 訳) (単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	28,586
B 固 定 資 産	10,729
C 資 産 合 計 (A + B)	39,315
D 負 債 合 計	10,502
E 純 資 産 (C - D)	28,813

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))
建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

式3-2

法人名 医療法人社団 美正会
所在地 静岡市清水区西高町4番6号

※医療法人整理番号					
-----------	--	--	--	--	--

貸借対照表
(令和4年4月30日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	28,586	I 流 動 負 債	10,502
II 固 定 資 産	10,729	II 固 定 負 債	
1 有 形 固 定 資 産	1,586	(うち医療機関債)	
2 無 形 固 定 資 産		負 債 合 計	10,502
3 そ の 他 の 資 産	9,143	純 資 産 の 部	
(うち保有医療機関債)		科 目	金 額
		I 基 金	5,000
		II 積 立 金	23,813
		(うち代替基金)	
		III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
		純 資 産 合 計	28,813
資 産 合 計	39,315	負 債 ・ 純 資 産 合 計	39,315

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式 4 - 2

法人名 医療法人社団 美正会
所在地 静岡市清水区西高町4番6号

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書
(自 令和3年5月1日 至 令和4年4月30日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	78,384
2 事業費用	85,218
本来業務事業損失	6,834
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	—
2 事業費用	—
附帯業務事業利益	—
事業損失	6,834
II 事業外収益	1,196
III 事業外費用	50
経常損失	5,688
IV 特別利益	—
V 特別損失	—
税引前当期純損失	5,688
法人税等	71
当期純損失	5,759

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。